



6年生 薬物乱用防止教室を開催



1月17日(木)の第5校時に、樹木医の福田勝巳さんと桐生西ライオンズクラブの高草木さんを講師に招いて、「薬物乱用防止教室(喫煙・飲酒・薬物乱用について)」の授業を行いました。

写真や映像を見たり、たばこに関わるクイズを考えたり、薬物やたばこの危険性について学びました。この日子供たちに配布された「薬物乱用はダメ。ゼッタイ。」というパンフレットの中に「薬物に手を出させないための7か条」という項目がありましたので紹介します。薬物やたばこだけでなく、子どもたちの健全な育成のためには、何より家族のコミュニケーションが大切であることが分かります。

- 1 子供の思春期特有の心と体の変化について理解しましょう。
- 2 毎日、家族の会話を大切にしましょう。
- 3 子どもの話には常に耳を傾けましょう。
- 4 友情をつちかい、仲間からの悪い誘いを拒否できる勇気を育てましょう。
- 5 子どもが家族や学校の先生にいつでも相談できるようにしておきましょう。
- 6 子ども自身が、健全な決断ができるように育てましょう。
- 7 家族そろってのコミュニケーションの場を大切にしましょう。



【薬物乱用に関わるDVDを視聴】



【たばこについてのクイズ】



【クイズの答えは・・・】

「北小 おはよう運動」さらにパワーアップ!

昨年の5月から、代表委員の児童が毎週木曜日の朝に「あいさつ運動」を実施しています。「な・め・こハイタッチあいさつ」ということで、お互いの名前を覚えて仲良くなることを目標にしましたが、よりあいさつ運動を活性化しよう、ということで、3学期は代表委員だけでなく、全校に呼びかけて「有志」を募って一緒にあいさつ運動を行うことにしました。

1月24日(木)の朝は、1年生から6年生まで約30人程の児童が、校門の前で代表委員とともにあいさつ運動に参加してくれました。参加者は、代表委員会からシールを名札に貼ってもらいます。回数によって、色が変わるということです。ぜひ、多くの子どもたちが参加し、元気なあいさつがあふれる北小学校にして欲しいと思います。

- | | |
|------------|-----------|
| 2回参加すると・・・ | あいさつ2級シール |
| 4回参加すると・・・ | あいさつ1級シール |
| 6回参加すると・・・ | あいさつ名人シール |



【あいさつ2級のシールを名札に貼ってもらいました。】



4年生 移動尾瀬教室



1月22日(火)の3・4校時に、4年生の社会科「ゆたかな自然を守る」という学習に関わる内容で「移動尾瀬教室」が開催されました。

尾瀬保護財団の小川さんを講師にお招きして、「尾瀬の地形や気候、植物や動物」について、さらに「これからの尾瀬をどのように守っていくのか」等についてスライド写真やワークシートを使って、詳しくお話をして頂きました。尾瀬の広大な自然や春夏秋冬で変わる尾瀬の姿を感じさせてくれる実体験に即した話を聞いて子供たちは、常に感嘆の声を上げていました。なぜなら、小川さんは、1年の半分を自宅を離れて尾瀬で過ごしているのです。4メートルを超える雪が積もる冬の季節は、ヘリコプターで時折点検に訪れるそうです。(帰りは、歩くそうです)



今回の「移動尾瀬教室」で見たり聞いたりしたことを通して、「豊かな自然を守っていくために自分たちは何をしたらよいのか」ということを考えるよい機会になったのではないかと思います。

←【尾瀬に生息している鹿の骨。この他にも、尾瀬の動物たちのぬいぐるみや毛皮も展示して頂きました。】

「全国給食週間」 1月24日～30日

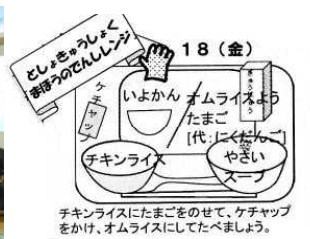
日本の学校給食は、明治22年に山形県の小学校で貧しい子供たちを対象に無償で提供された昼食が日本で最初の学校給食だと言われています。当時の献立は、「おにぎり、塩さけ、漬物など」が出されたと言われています。今と比べると大分質素です。

その後、戦争のために給食が中断されたこともありましたが、昭和22年12月24日より、東京都・神奈川県・千葉県で学校給食が再開されることになりました。それ以来、1月24日を学校給食感謝の日と決めました。しかし、冬休みと重なるため、1月24日から30日までの1週間が「全国学校給食週間」となりました。

現在の学校給食は、成長期の子供たちの健康増進に役立つ栄養バランスのとれた食事、地場産物も多く取り入れています。また、郷土料理(おっきりこみ、ソースかつ、すいとん等)や行事(節分・ひな祭り・こどもの日・七夕等)などを取り入れ、食文化や伝統に対する興味を深め食への関心を高めています。

給食は、美味しい食材を作ってくれる生産者の方や、大量に調理をしてくれる調理員さん、栄養バランスのよい献立を考えてくれる栄養士さんなど多くの人々の仕事によって支えられています。給食が食べられることを当たり前とは思わずに、感謝して残さずに食べ、感謝の気持ちを込めて、「いただきます」「ごちそうさまでした」のあいさつが言えるようにしたいと思っています。

1月の図書給食「まほうの電子レンジ」



1月17日(木)の昼休みに、給食委員会の児童(4年生:村岡星流さん、5年生:村田皇法さん、6年生:三井涼馬さん)が読み聞かせをしてくれました。

ある日、家に不思議な電子レンジが届きました。お皿を入れて食べたものを歌うと、そのお皿に歌と同じ

ご馳走が出来上がるのです。オムライス、カツ丼、ラーメン・・・こんな電子レンジなら家に1台欲しいですね。

翌日18日の献立には、チキンライスとふわふわのオムライス用卵が出ました。読み聞かせを聞いた人は、あの不思議な電子レンジを思い浮かべながら楽しく給食を頂いたことでしょう。